

静岡県医療健康産業研究開発センター
指定管理者評価委員会 評価結果

静岡県経済産業部 産業革新局新産業集積課

1 開催日時・場所

日時 令和3年7月29日(木) 10時00分～11時40分

場所 静岡県医療健康産業研究開発センター 大会議室

2 指定管理者名

公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構

3 指定期間及び評価対象期間

指定管理期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日
対象評価	年次評価(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

4 評価手順

(1) 指定管理者による実績報告

(2) 質疑応答

(3) 委員の採点による評価

5 評価委員会委員

区分	氏名	所属	備考
委員長	岩城 徹雄	一般財団法人アグリオープンイノベーション機構 専務理事兼事務局長	有識者
委員	竹村 祐輔	タケムラビジネスコンサルタンツ 中小企業診断士	有識者
委員	吉村 武朗	株式会社サイダ・FDS	施設利用者
委員	佐藤 祐一	株式会社リコー	施設利用者

6 評価結果

平均点	総合評価	総合評価区分	評価得点率	摘要
82.0 点	良	優	最高点の85%以上	大いに評価できる
		良	70%～85%未満	評価できる
		可	50%～70%未満	普通
		要改善	50%未満	改善を要する

区分	項目	評価の視点	配点	平均点
基本的 事項	設置目的の達成	・数値目標と実績(事業化)	10	7.5
		・ " (共同研究)	10	7.5
		・ " (交流ホール・会議室)	5	4
管理運営 状況	職員配置、教育研修体制	・職員配置、教育研修は適正に行われているか	5	4.25
	危機管理体制の構築	・入居者と連携した体制が整っているか	15	12.75
		・必要なマニュアルの作成がされているか		
		・訓練等によりマニュアルの有効性を確保しているか		
・定期的な確認等により予防対策がなされているか	5	4.5		
トラブルや苦情への対応	・対応は迅速かつ適切に実施されたか	5	4.5	
サービス 向上、利 用増進	入居者支援事業の実績	・事業化又は共同研究を促進し、効果が認められるものであったか	15	12
	連携、交流事業の実績	・地域を含め、オープンイノベーションを促すものか	15	12.75
	会議室の利用率向上	・利用率向上に向けた取組みはされているか	5	3.75
	利用者サービスの実績	・常設展示場など適切な運営が行われているか	5	4.25
経営状況	収支実績	・収支計画及び実績は妥当か ・効率的な管理を行っているか	5	4.25
合 計			100	82.0

委員講評 (主な助言事項・意見)

<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度目標値はいずれも未達成ながら、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、仕方ない部分と評価した。貸会議室は、WEB会議のPRや認定看護研修の再開など努力が認められる。災害に対する準備も考えるものには取り組まれた。 新型コロナウイルス感染症に対し、諸外国に対してワクチン接種など、いろいろな面で我が国の「遅さ」が気になる。更なるスピードアップに期待したい。 入居企業の製品展示が改善されているほか、新型コロナウイルス感染症対策も厳重に行われた。施設内の清掃状況や施設管理会議の開催方法の変更など、評価できる。 共同研究・事業化支援が大変手厚く、入居企業の満足度調査も高い。このセンターの一番本業の部分が大変よく運用されている。 実際に入居している企業から高い評価を得ており、全体を通じてよく運営している。 新型コロナウイルス感染症の影響によりやむを得ないところはあるが、入居者支援、連携交流の促進に向けて、より一層頑張ってください、引き続き、施設の設置目的に沿った指定管理者の役割を果たしていただきたい。 ファルマバレープロジェクトが始まって20年が経過しており、地域に根ざした、がんセンターを中心とした医療城下町の形成に期待する。
--